

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	箕輪町
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	林道整備事業
事業費 3,355,000 円		(うち支援金： 973,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の整備や維持管理等のために活用している林道について、度々風雨による倒木や落石、土砂崩れが発生している。また、土砂や落葉等の詰まりにより林道を維持するための施設も不具合が生じやすいため、定期的な維持管理が必要である。

(2) 本事業の目的

林道の適正管理により林道の被災等を未然に防ぎ、作業員・一般観光客等の安全な通行を確保し、森林資源の有効活用を目指す。

事業内容

(1) 実施場所 箕輪町内の林道

(2) 対象者 森林所有者、林業事業者、一般観光客

(3) 実施方法 公共補助林道事業の対象とならない林道の維持管理及び修繕を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 2 年～ 4 年度)

利用頻度の高い林道や、危急度の高い修繕箇所について優先的に整備を行う。

②令和 2 年度実績

林道中樽線 修繕工事

工事前



工事後



事業効果

(1) 事業実施による効果

林道の適正な維持管理により、通行者の安全が確保され、森林資源の有効活用、森林整備の推進が図られる。

(2) 継続性

林道は降雨により路面洗堀され、土砂・落葉等により林道施設が不具合を起しやすく、林道災害の発生につながる。適正な維持管理を継続することにより、甚大な災害発生を未然に防ぎ、計画的な森林資源の利活用につながる。

(3) 普及性

林道は生産森林組合や地元の区が森林整備等で常時活用しており、一部の林道は観光地である萱野高原への道として町内外からの観光客も通行するため、幅広い県民への恩恵が期待できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

林道の路肩に雨水が流れ込み、L型擁壁の内側が浸食され穴が開いていた危険箇所を修繕し、森林所有者、林業関係者、観光客が安全に通行できる林道に復旧した。

(2) 課題

近年、豪雨や台風による林道の被害が多発しており、復旧箇所が増加している。また、従来の施設(雨水処理施設など)では対応しきれない状況も発生しており、整備すべき箇所が増加し、対応が追い付いていない。林道の使用者になるべく支障が出ないように対応することが課題である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和3年度の事業は、林道中樽線において、沢水の排水対策として横断側溝の新設を予定している。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)